

DUNLOP NEXT CUP

EXGEL 神戸シリーズ Rd.2

■開催日：8月5日 ■天候：晴れ / DRY ■参加：15台

EXGEL®

DUNLOP

ThreeBond



30度オーバーの酷暑となった第2戦 野村勇斗がパーフェクトウィン!

ダンロップネクストカップ EXGEL 神戸シリーズ第2戦は5月に行われた開幕戦から3ヶ月後となる8月5日、兵庫県・神戸スポーツサーキットで開催された。

当日は西日本各地の気温が40度に迫るといふ猛暑に見舞われたが、ここ神戸スポーツサーキットにおいてもそれは例外ではなく、夏の太陽が容赦なく照りつけてくる、まさに灼熱ともいえる厳しいコンディションでのレースとなった。

第2戦にエントリーしてきたのはスポット参戦組を含めて15台。全日本選手権シリーズにも参戦する若手から、海千山千のキャリアを誇るベテランまで、幅広い年齢層の選手たちによって競われることになる。

まず最初に行われたのが公式練習 & タイムトライアル。ここで一番タイムを叩き出してきたのは野村勇斗だ。今大会のチャンピオン候補としても名高い野村は、開幕戦においてもTTトップタイムをマークしている。しかし、その後の決勝では不安定な天候に翻弄されたこともあり、本人いわく「タイヤを間違えちゃいました」とのことで、結果的には10位という不本意な結果に。今回、第2戦ではその汚名返上といきたいところでもあるだろう。

さて、続く予選ヒートにおいても、野村はスタートからリ-



ドを一気に広げていくと、後方で展開される激しい2番手争いを尻目に余裕の一人旅となっていく。最後まで全く危なげないままに走りきるとトップでチェッカー。ここまで完璧な流れのままに、決勝はポールポジションから臨むことになる。

決勝でも野村の強さは圧倒的だった。予選同様、スタートをうまく決めていくと、再び独走状態へと持ち込んでいったのだ。

GRAN TURISMO

ENDLESS
The will to WIN.

KTC
KYOTO TOOL

Arai
HELMET

NGK
SPARK PLUGS

MOTUL

birel
PACIFIC

IAME
THE HEART OF KART

KRP
Racing Project



「後ろからのプレッシャーは、まったく感じる事が無いままに落ちていく事ができました」とのコメントからも分かる通り文句ない展開のままに初勝利をその手にした。

その野村に届きはしなかったものの、4番グリッドスタートから2位にまでジャンプアップしたのが清水跳馬。2番手、3番手の選手との激しいバトルによって、トップ野村のリードを許しはしたが「2番手になってからはタイヤもタレ気味になってきたのですが、少しずつトップとのリードを詰めていけたと思うので、その点に関しては良かったと思います」という清水。第3戦に向けて確かな手応えを掴んだようでもある。

3位はスポット参戦の久保誠が入った。10ヶ月振りのレース参戦ということで、さらにEnergy & IAMEというパッケージに乗るのも初めてという環境下ながら、6番グリッドスター

トから見事な追い上げを見せて表彰台の一幕を確保してくれるのはベテランの為せる業だろう。レース途中、前方で行われる3台のマシンが繰り広げる激しい2番手争いを目にした際は「毎回、こっちにも寄ってくるから飛んでいきそうになるんですよ。でも結局、あれで当たらないから凄いですよ。まるで三位一体な感じだったのに。やっぱり、こういったレースに出ているだけあって最低限のスペース空けや、駆け引きがあたりするんでしょうね」と、そのレベルの高さに関心したという。今回はスポット参戦の久保だが、もしタイミングがあうならばと次戦以降の参戦に対する可能性にも含みを残した。



1st : 野村勇斗

Ash

TTから良い感じだとは思っていましたが、予選はタイムも安定していたのですが、決勝はちょっとばらつきがあったしタイヤを滑らすことも多かったので直していきたいと思います。スタートから逃げられたので上手くいって良かったのですが、後半があまりペースが上がらず、そこは直さないといけないと思いました。10周目ぐらいで3秒ほどの差ができた時に勝利を確認しました。このコースはセットを合わせるのが難しく、ギアも迷いましたが最終的にはセットは合ったと思います。次回も勝てるように頑張ります。



DUNLOP NEXT CUP EXGEL 神戸シリーズ第2戦

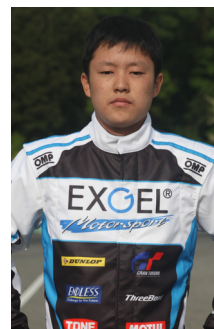
Pos.	No.	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.P.	Q.H.
1	6	野村勇斗	Ash	EXPRIT	IAME	DL	42.576 ①	1
2	1	清水跳馬	RB PEGTOP	EXPRIT	IAME	DL	42.877 ⑤	4
3	20	久保誠	ANT.R.T.with ランドクリエイト	Energy	IAME	DL	43.022 ⑧	6
4	2	島影柊磨	エスカルゴ	TONYKART	IAME	DL	42.868 ④	5
5	4	鎌刈一希	トップラボ	BirelART	IAME	DL	43.172 ⑩	DNF
6	5	嶋田隼人	K-tech with びいたあばん	BirelART	IAME	DL	42.812 ③	3
7	12	橙 侍規	チームナガオ	Energy	IAME	DL	42.789 ②	2
8	10	岡本健佑	TIGRE	SWF	IAME	DL	43.112 ⑨	9
9	8	翁長実希	スクーデリア沖縄	TONYKART	IAME	DL	42.890 ⑥	8
10	9	松村浩之	S.S.C	SWF	IAME	DL	42.958 ⑦	10

2nd : 清水跳馬

RB PEGTOP



予選決勝共、セットをほぼ変えずに良い感じにできました。タイヤはトップの選手と同じ周からタレてきたのですが、その中でもタイムがあまり変わらず、むしろ少しづつ差を詰められたので、その点に関しては良かったと思います。自分の中ではスタートで2番手まで上がり、トップが速いのは分かっていたので10周目ぐらいでバトルに持ちこもうと思っていたのですが、スタートでミスって予定どおりとはいきませんでした。



3rd : 久保誠

ANT.R.T with ランドクリエイト



暑さがひどくて体力的にキツかったです。身体的にはさらにキツくなるのですが、決勝はセットを変えないと勝負にならないので、フロントが入るようにしていききました。それで純粋にタイムが上がった感じでした。とにかく決勝は前に行くしかないし、スタートでもう少し上がれそうでしたが、前のバトルが激しくて何回もアウトに飛んでいきそうになった分、僕にも当たりそうになるので……。あれを抜けたらもっと上に行けたと思いますが、でも皆、やっぱ上手いですよ。

